

上越市 H23.11.7&11.16 取材

くびき野 森林組合

こちらは2日間に渡っての取材となりました。まず11月7日に同組合頸中支所のお仕事を拝見。朝からあいにくの雨で、カーラジオからは「上越地方に豪雨警報と土砂災害に注意!!」って、正直引き返したい気分。しかし取材現場で元気をもらいました! 若いスタッフが冗談を飛ばしながら明るく楽しい仕事ぶり。紅一点の梨本雅子さんが一番活動的で、場の雰囲気を作っていました。16日におじゃました頸北支所の鉄道林整備は、電車の通行に細心の注意を払いながらの緊張感ある現場でした。



①若手のホープ富村さん(左)と女性林業人として期待される梨本さん。手を休めて差し入れのたい焼きを頬張る2人 ②後日晴れた日に頸中支所作業現場を再訪した際、眼下に見られた棚田の風景 ③JR越後線刈羽駅と荒浜駅間での支障木伐採作業。電車の通行が最優先のため見張りを付けることが義務 ④雨のため近くの東屋で梨本さんにインタビュー ⑤頸中事務所で参事の西條さんに組合の現状を聞く



糸魚川市

H23.12.13 取材

ぬながわ森林組合

小雨模様の朝。6時過ぎに新潟を出発し9時前にぬながわ森林組合事務所に到着しました。取材に大変協力的だった総務部長の岡田さん。現場を4か所ご案内いただきました。森林技術員のうち通年雇用が8人。さらにそのうち4人が20代で、みんななかなかの男前。無口なところもい。山の仕事が男の顔を作っているのかは定かでないけれど、とにかく精悍でした。午後からは日が射ってきて、今回の取材で初めてとなる植林の現場を見ることもできました。

①ブナの植樹現場を取材。奥に見えるのは日本海 ②大矢組合長にインタビュー ③作業道を作る木島さん。しっかり根の張ったスギの切株を掘り起こすのは重要な作業 ④森林技術員のモデルとして恩田さんに全身写真をリクエスト ⑤糸魚川市の美山公園の支障木整備をしていた吉野さんにインタビュー ⑥竹林の奥にあるスギ林で作業道を作っていた渡辺さん。重機の作業が好きだとか



南魚沼市

H23.11.11 取材

南魚沼森林組合

この日の取材も雨でしたが、今回は現場が山の奥の方ということで、雨の中での山登りを初体験。道なき山に登る中、ぬかるみに足を取られ、思わず目の前の木の枝をつかんだら枝が抜けて尻もち…なんてのは序の口。なかなか現場に辿りつけない中、雨と涙で目の前の景色がぼやけていくのでした。そんな山奥の現場、しかも傾斜地で働く皆さんは本当にスゴイ。改めて林業の厳しさを身を持って体験しました。ホント、この日は取材時間より山登り時間の方が長かったかも…。

①のっけから急な傾斜に立ちすくむ ②下を見て、「無事に下界に帰れるんだろうか」と不安に ③枝打ちされて美しく整えられた山。雨に濡れていっそう幻想的な雰囲気 ④こちらは森の中に作業道を作る現場。ダイナミックな重機の動きを遠くから見る私達 ⑤林業を始めて1年目の高橋さんにインタビュー。前向きな言葉に思わずこちらも笑顔に ⑥雨で足場も悪い中、皆さんこんな傾斜地で作業しているのです!



緑の担い手を目指そう!
にいがた山しごと情報誌

Niigata Forestry Magazine

取材記

平成23年11月から平成24年2月までの約4ヶ月間にわたり、新潟県内各地の林業事業体を取材して、この冊子ができあがりました。その製作スタッフによる「取材記」をお届けします。取材を通してスタッフが肌で感じた思いを、ぜひご覧ください。

<スタッフ紹介>

私たちが取材にお伺いしました!



【ライター】
Tomoko Kuwabara
桑原知子

取材を重ねるごとに林業に魅了されています。現場の皆さんの笑顔もとても印象的!



【ライター】
Yoshinori Watanabe
渡部吉則

福島出身です。新潟の豊かな自然、温かい人柄、ご当地グルメに浸っています!



【カメラマン】
Shinji Nakazawa
中沢真二

林業に携わる皆さんの頑張っている様子を写真を通して伝えていきたいと思っています!

魚沼市

H23.11.18 取材

魚沼市森林組合

取材日が晴れるのは何ともうれしいです。越後須原駅から車で5分ほどの「魚沼市森林組合」。管理課主任の高橋さんに案内いただいて30分ほど車を走らせて山林へ入りました。杉の間伐作業を行っていた2名の方にお話を聞きましたが、印象的だったのは道具の取り扱いについて。チェーンソーの刃を各々のやり方でヤスリをかけておく「目立て」のことなど、職人ならではの話が聞けました。事務所は食品加工場も兼ねていて、白衣を着たスタッフさんも数名いらっしゃいました。

①杉林に優しく漏れる太陽の光。静かな森の中でチェーンソーの音だけが響く ②井川さんと坂西さんにインタビュー。チェーンソーの目立てを実際に見せてくれた ③組合事務所からさらに山あいとなる福山地区にある炭焼き小屋 ④前日に窯から出した炭を冷まし拾い出す ⑤現場管理の高橋さんに取材 ⑥平井組合長から雪が多い地域の現状と問題点について説明を受けた



十日町市

H23.11.21 取材

株式会社 村山土建

新潟市を出発した時点では雨。しかし十日町市内でみぞれに変わり、現場に到着した時点で、めでたく(!?) 今年初の雪となりました。取材チームはここまで雨や崖の現場を繰り返してきたので、ひるまずにドンドン山に入っていきます。斜面の歩き方もかかとに力を入れ、ガツガツ踏み入ります。こんな気持ちになれたのも、朝早くから夕方までこのような厳しい場所で未来のために黙々と仕事をされている皆さんを見てきたからこそ。現場はベレットなどになる細い木を伐採していました。



①雪の中、木の根や枝を踏みながら斜面を上る。作業現場はもっと奥だ ②入社3年目の小杉さんにインタビュー。ICレコーダーの手がかわかむ ③山から戻り森林環境課の事務所まで話を聞く。壁は自然味にあふれた無垢の木を採用 ④冬場は大活躍する除雪車群。同社の心強いラインナップ ⑤左から齋木課長、村山社長、金井常務、村山社長からは若手育成と林業に対する熱いお気持ちを伺えた